

令和2年度ゴールデンウィーク(令和2年4月25日(土)～5月6日(水)) における主な観光地の利用状況について

■今年のゴールデンウィーク(4月25日～5月6日)における県内の主な観光地(51か所)の延利用者数は、7万4千人で、前年に比べ362万3千人(98.0%)減少しました。

- ・新型コロナウイルスの影響が主な要因であり、「信州の観光はお休み中キャンペーン」により観光旅行の自粛を呼びかけたこと、観光客が集まる施設に休業の検討を依頼し、それを受けて調査対象の観光地内の多くの施設が営業を休止したことにより、大幅な減少となった。

○調査期間 令和2年度 R2.4.25(土)～5.6(水) 12日間
平成31年度 31.4.27(土)～5.6(月) 10日間

○調査箇所 主な観光地 51か所

(単位：千人)

	令和2年度 (A)	平成31年度 (B)	増減 (A) - (B)	増減比 (A-B) / B × 100	(参考) 1日あたり 増減比
利用者数	74	3,697	△3,623	△98.0%	△98.3%

※ 施設の閉鎖等により利用者の数を確認できない観光地があることから、本年度は観光地ごとの利用者数等は公表いたしません。